

## 第5回地域活性部会（仮称） 摘録

日 時：平成 29 年 2 月 3 日（金）18:00～20:00

場 所：区役所第 1 会議室

出席委員：佐藤部会長、影山副委員長、荒川委員、老門（泰）委員、黒澤委員、田辺委員、山部委員（7 名）

欠席委員：川田委員長、大木委員、山田委員、（3 名）

資 料：次第

資料 1 委員名簿

資料 2 第 6 期審議スケジュール案

資料 3 全体会パワーポイント（部会調査審議進捗報告）

資料 4 区民会議フォーラム企画（案）

その他 第 4 回全大会議事録（未定稿）

区民会議フォーラムチラシ

フォーラム参加者リスト

「サンフェスタ」関連資料、「じもたん」関係資料

### ■ 議題

#### 資料確認

#### 1 全体会（これまでの討議）のふりかえり（公開）…資料 3

#### 2 部会名について（公開）

3 名欠席委員がいたこともあり、決定は次回。良い案があれば次回持ち寄る事とした

##### ■ 「活性」を使った案…「みやまえ活性部会」「みやまえ〇〇活性化部会」など

- ・ 「みやまえ」を強調。みやまえはひらがな表記（佐藤・山部）
- ・ みやまえ〇〇活性化部会。〇はそれぞれ入れていただく。（老門委員）
- ・ 「活性」は抽象的すぎる？もう少しターゲットを明確にしたい。（田辺）

##### ■ 「ビジネス」を使った案…「プチビジネス部会」「C級ビジネス部会」など

- ・ 「ビジネス」に何か言葉を加える。一定の収益を目指す点は強調したい。（田辺）
- ・ 「ビジネス」は慎重に使うべき。議論がそこまで熟していない。（影山）
- ・ 「ビジネス」という言葉でしか、線引きができないように感じている。（田辺）
- ・ 「地域」は「ビジネス」ではないイメージがある。（影山）
- ・ これまでの議論の「交流」の部分が「ビジネス」では表せない。（田辺）
- ・ まち協や既存の活動等との関係を区民会議としてどう交通整理するか。（影山）
- ・ まち協の市民活動団体への活動資金提供（年間 30 団体ほど）は、ビジネスとして行っている活動は対象になっていない。（田辺）
- ・ 「C級ビジネス」。なんだろう？と興味を持ってもらえそう。（コンサルタント）

→「C級グルメ」は由来を良く聞かれた。おいC、たのC、Community。(荒川)

#### ■「宮前名物部会」

- ・ 市民館で「宮前区の名物」を作る目的で「C級グルメ」に取り組んできた。(荒川)
- ・ 地域グルメのフェスティバルなどができれば良いのではないかと。(山部)

#### ■その他のキーワード

- ・ **若者、女性**をターゲットにすることが新しい点ではないか。(影山)
- ・ **体験**を絡めたい。例えば農業を体験しながら、地域や商店街を元気にしていくイメージ。(影山)

#### ■その他の話題（世代間コミュニケーション、活動の継承）

- ・ C級グルメの活動の代表を若い世代に譲ったら、「じもたん」が取材に来た。小さな子どもを連れてきてわいわい、私たち世代とは違う感覚でやられている。(荒川)
- ・ 若い世代とのギャップも問題だが、完全に手をひいてしまうと相談なく、勝手に進んでしまい、二分化してしまう。今まで築いたものをどう反映するかが課題(荒川)
- ・ 老年学の教授のお話では「わが・ままで良い」「年寄りだからと引かず、言いたいことは言いなさい」という事だった。(荒川)

### 3 フォーラム開催後の進め方、取組方向性のイメージについて（公開）

- ・ **目に見えないサービス業なども含めていきたい**。例えばベビーシッター。(田辺)
- ・ 放っておいても出てくる人ではなく、**埋もれている人を引き出したい**。(荒川)
- ・ ①**作品を商店街のウィンドウなどで展示・販売できる仕組みづくり**  
②**地域の公園や公共施設のスペースを活用したバザーやマーケット**  
③**地域資源を活かした定期市**(影山)
- ・ 「**青空市**」のような物ができたら、良い。麻生区の「やまゆり会館」で NPO を立ち上げて運営を事業化し、まちづくり協議会を無くした事例がある。**定期市で収益**を上げて、東急の空き店舗が借りられるような形を目指してはどうか。(荒川)
- ・ 区民祭など年1回のイベントはあるが、**定期的なイベント**はあまりない。(田辺)
- ・ **既存のイベントの回数増でなく、連携、シリーズ化によって定期化できないか。相互宣伝・出店しあう**ような形だ。(コンサルタント)
- ・ 農業フェス、サンフェスタ、はぐるま農園の地域とのイベントなど、既存のイベントの例はある。連携できれば、WIN-WIN になりそうだ。(田辺)
- ・ 「来月はどこであります」というような形。**将来的には事務局を NPO として立ち上げる**形を目指してはどうか。(影山)
- ・ **季節にあった企画**ができ、**定期的なバザー**などになれば良い。(山部)
- ・ 鷺沼駅再開発の設計には地域交流スペースも組み込まれていると聞いた。そういうスペースも活用できると良い。(田辺)
- ・ **区役所と市民館の間のスペース**なども活用したい。

#### 4 フォーラム分科会の進め方について（公開）

- 前半の自己紹介はできるだけ全体で。
- 部会のイメージ（定期市構想）などを佐藤部会長がプレゼンする時間を持つ。
- 後半は意見交換。参加人数によってグループ分け。進行役（仮）は佐藤・影山・老門
- チラシなどによる飛び込みの参加者は少数派。直接の声掛けに力をいれる。
  - ・ 一番大事にしたいのは「つながりづくり」。交流の時間を多く持ちたい。（佐藤）
  - ・ 小グループだと参加者の特技などがグループ内にしか伝わらない。自己紹介は全員でできると良い。（佐藤）
  - ・ 自分の技術を紹介する時間はある程度確保しないと、満足度が下がるのではないか。作品や資料もあれば持ってきていただく形が良い。各自持ち時間数分は確保し、前半30～40分くらいは費やす必要がある。
  - ・ 参加のメリットをどう提示するか。漠然とした交流で終わらないように。（田辺）
  - ・ 東急ストアの200円券の配布に行列ができる。若い世代や親子連れも増えてきたい。そういうことではすごく人が集まる。（荒川）
  - ・ 私だったら、仕事や同業者との交流につながればと考える。（佐藤）
  - ・ 既存の交流会は、出る人が決まっている。（山部）
  - ・ 地元で繋がる事の利点を伝えたい。地元商店のホームページ作成をされている佐々木さんやサンフェスタの小川さんなどにお話を聞きたい。（佐藤）
  - ・ なんとなく交流するのではなく、区民会議が考えている事を具体的に投げかけ、意見やアイデアをいただくと良いのではないか。（コンサルタント）
  - ・ 物を扱わないサービスのグループをつくっても良い。定期市構想にうまくはまらない方もくるかもしれない。（田辺）
  - ・ サンフェスタなどではマッサージなどのサービスもある。展示ブーススペースの中に占いなどが入る例もある。違和感なく共存できるのではないか。（佐藤）
  - ・ 参加者に気持ちよくしゃべっていただく事が大切。区民会議が一番喋っている様な状況は避けたい。進行役が必要だ。
  - ・ 必ずしも結論は出さなくても良い。参加者と区民会議とがフォーラム後にうまく繋がっていく事を目指す。

#### 5 その他（公開）

- ・ 今後の会議予定の確認（来年度についても仮日程を設定）